

○子どもとおじいちゃんおばあちゃんが日頃から交流できる場所があると良い。

**世代間交流**

○子どもの成長を見守るために、小学校と保育所の連携をとった方が良い。

**子育て支援**

○高年齢者の見守りについて、個人情報保護の流れもあり、独居老人の情報を得られない。何かあったとき、放置されないような方法を行政も検討してほしい。

○増加する高齢者に、今ある施設だけでなく十分な対応できるのか、不安がある。

○高齢者の見守りについて、個人情報保護の流れもあり、独居老人の情報を得られない。何かあったとき、放置されないような方法を行政も検討してほしい。

○無料バスが走って、長居できる場所さえあれば、元気な高齢者は自由に新しいコミュニティを「イベント」ができる。

○増加する高齢者に、今ある施設だけでなく十分な対応できるのか、不安がある。

○高年齢者の見守りについて、個人情報保護の流れもあり、独居老人の情報を得られない。何かあったとき、放置されないような方法を行政も検討してほしい。

○無料バスが走って、長居できる場所さえあれば、元気な高齢者は自由に新しいコミュニティを「イベント」ができる。

○増加する高齢者に、今ある施設だけでなく十分な対応できるのか、不安がある。

○高年齢者の見守りについて、個人情報保護の流れもあり、独居老人の情報を得られない。何かあったとき、放置されないような方法を行政も検討してほしい。

○無料バスが走って、長居できる場所さえあれば、元気な高齢者は自由に新しいコミュニティを「イベント」ができる。

○増加する高齢者に、今ある施設だけでなく十分な対応できるのか、不安がある。

○高年齢者の見守りについて、個人情報保護の流れもあり、独居老人の情報を得られない。何かあったとき、放置されないような方法を行政も検討してほしい。

○無料バスが走って、長居できる場所さえあれば、元気な高齢者は自由に新しいコミュニティを「イベント」ができる。

○増加する高齢者に、今ある施設だけでなく十分な対応できるのか、不安がある。

○高年齢者の見守りについて、個人情報保護の流れもあり、独居老人の情報を得られない。何かあったとき、放置されないような方法を行政も検討してほしい。

○無料バスが走って、長居できる場所さえあれば、元気な高齢者は自由に新しいコミュニティを「イベント」ができる。

○増加する高齢者に、今ある施設だけでなく十分な対応できるのか、不安がある。

○高年齢者の見守りについて、個人情報保護の流れもあり、独居老人の情報を得られない。何かあったとき、放置されないような方法を行政も検討してほしい。

○無料バスが走って、長居できる場所さえあれば、元気な高齢者は自由に新しいコミュニティを「イベント」ができる。

○増加する高齢者に、今ある施設だけでなく十分な対応できるのか、不安がある。

○高年齢者の見守りについて、個人情報保護の流れもあり、独居老人の情報を得られない。何かあったとき、放置されないような方法を行政も検討してほしい。

○無料バスが走って、長居できる場所さえあれば、元気な高齢者は自由に新しいコミュニティを「イベント」ができる。

○増加する高齢者に、今ある施設だけでなく十分な対応できるのか、不安がある。

○高年齢者の見守りについて、個人情報保護の流れもあり、独居老人の情報を得られない。何かあったとき、放置されないような方法を行政も検討してほしい。

○無料バスが走って、長居できる場所さえあれば、元気な高齢者は自由に新しいコミュニティを「イベント」ができる。

○増加する高齢者に、今ある施設だけでなく十分な対応できるのか、不安がある。

○高年齢者の見守りについて、個人情報保護の流れもあり、独居老人の情報を得られない。何かあったとき、放置されないような方法を行政も検討してほしい。

○無料バスが走って、長居できる場所さえあれば、元気な高齢者は自由に新しいコミュニティを「イベント」ができる。

○増加する高齢者に、今ある施設だけでなく十分な対応できるのか、不安がある。

○高年齢者の見守りについて、個人情報保護の流れもあり、独居老人の情報を得られない。何かあったとき、放置されないような方法を行政も検討してほしい。

○無料バスが走って、長居できる場所さえあれば、元気な高齢者は自由に新しいコミュニティを「イベント」ができる。

○増加する高齢者に、今ある施設だけでなく十分な対応できるのか、不安がある。

○高年齢者の見守りについて、個人情報保護の流れもあり、独居老人の情報を得られない。何かあったとき、放置されないような方法を行政も検討してほしい。

○無料バスが走って、長居できる場所さえあれば、元気な高齢者は自由に新しいコミュニティを「イベント」ができる。

○増加する高齢者に、今ある施設だけでなく十分な対応できるのか、不安がある。

○高年齢者の見守りについて、個人情報保護の流れもあり、独居老人の情報を得られない。何かあったとき、放置されないような方法を行政も検討してほしい。

○無料バスが走って、長居できる場所さえあれば、元気な高齢者は自由に新しいコミュニティを「イベント」ができる。

○増加する高齢者に、今ある施設だけでなく十分な対応できるのか、不安がある。

○高年齢者の見守りについて、個人情報保護の流れもあり、独居老人の情報を得られない。何かあったとき、放置されないような方法を行政も検討してほしい。

○無料バスが走って、長居できる場所さえあれば、元気な高齢者は自由に新しいコミュニティを「イベント」ができる。

○増加する高齢者に、今ある施設だけでなく十分な対応できるのか、不安がある。

○高年齢者の見守りについて、個人情報保護の流れもあり、独居老人の情報を得られない。何かあったとき、放置されないような方法を行政も検討してほしい。

○無料バスが走って、長居できる場所さえあれば、元気な高齢者は自由に新しいコミュニティを「イベント」ができる。

○増加する高齢者に、今ある施設だけでなく十分な対応できるのか、不安がある。

○高年齢者の見守りについて、個人情報保護の流れもあり、独居老人の情報を得られない。何かあったとき、放置されないような方法を行政も検討してほしい。

○無料バスが走って、長居できる場所さえあれば、元気な高齢者は自由に新しいコミュニティを「イベント」ができる。

○増加する高齢者に、今ある施設だけでなく十分な対応できるのか、不安がある。

○高年齢者の見守りについて、個人情報保護の流れもあり、独居老人の情報を得られない。何かあったとき、放置されないような方法を行政も検討してほしい。

新しいまちづくりの計画  
第5期上土幌町総合計画の策定作業を進めています！

地域別懇談会 団体懇談会

結果報告

～主なご意見・ご提案～

先月号までに、「第5期上土幌町総合計画」の策定に向け実施した、各種アンケート結果を3回に分け報告しました。今回は、昨年10月から12月に渡って開催された地域別懇談会、団体懇談会で出された主なご意見・ご提案などを紹介します。

※詳しいお問い合わせは、企画財政課ひとまちづくり担当(内線266)平田まで

団体懇談会

団体区分	日時
教育・文化・福祉	平成22年11月24日(水)
住民活動	平成22年11月29日(月)
産業	平成22年12月6日(月)

農業

○一番心配しているのは、高齢化による農家戸数の減少をどう防ぐかである。今の基幹産業に対して、若い人には魅力が見えていない。

○後継者問題など、先が読めない。新規就農者はすぐには現れない。少しずつ準備しているが、町やJAが主体となって受け入れの整備を早急にしてもらいたい。

商業

○商店街は、お母さんやおばあちゃん一人で開店しているなど、厳しい状況で後継者もいない。このままでは、店舗は3分の1くらいになる。

地域別懇談会

地域区分	日時
1区・2区・3の1区・3の2区・4区・5区・6区・8区・9区・10の1区・10の2区・13区・14区	平成22年10月20日(水)
7の1区・7の2区・11の1区・11の2区・12区・15区・16区・17区	平成22年10月21日(木)
ぬかびら源泉郷・幌加・三股	平成22年10月26日(火)
萩ヶ岡・清水谷	平成22年11月15日(月)
上音更・勢多・豊岡	平成22年11月16日(火)
北門	平成22年11月17日(水)
東居辺	平成22年11月19日(金)
北居辺	平成22年11月22日(月)



▲地域別懇談会

産業連携

○農商工と観光の連携、上土幌のなかでしっかりとできればうらやましいところある町に生まれかわる。連携することで町内の購買力があがる。商業者にとっても良い状況になる。ぬかびらには5万人から6万人のお客さんが宿泊する。上土幌の商店から、価格さえ合えば地場産品を買いたい。そういったシステムをつくれれば活性化する。

○連携連携といわれて久しく、地産地消、連携するといっても、自分の部分で精いっぱいなので、なかなか進まない。連携の事務局を町がやり、対応してくれればと思う。普段から事務方がいて、定期的に会議等を開催できないか。

教育

○障がい児の支援にもう少し力を入れてはどうか。発達障がいなこの子は、小さいころから支援があると改善される。

○特別支援学級に入っている子どもだけでなく、軽度発達障害の子どもへも支援が必要である。実際に子どもたちを見てみると、支援が必要な子どもが増えていくように感じる。もっと教育、福祉、医療など、今以上に密接に連携をとりながら支援できる体制を充実させるべきである。

○町内でひとりも不登校の子どもがいないのは素晴らしいこと。

農業振興

○畑作収入が上がっているのは、基盤整備のおかげである。基盤整備は、きちんと続けてほしい。

○農業はグローバル化されているので、地域だけで考えるのではなく広い目で見るべきである。国際的な取り組みの機会がもてるように、グローバルな教育が必要である。

道の駅

○10年前から道の駅の議論ができてきている。役場の中でもプロジェクトを決めて研究・議論していくべきである。

○あればいいと思うが、経済的に大きく負担もかかるとのことなので、既存の建物を利用できないか。野菜を売るだけじゃなく、高齢者の手作りのものも一緒に売るなどしてはどうか。

観光

○熱気球のまちという割には、夏、冬の大会イベントのみが目的となっている。来訪者がきてても、「熱気球のまち」のイメージがない。恒常的に熱気球がみられる、体験できるしくみづくりが必要。

○アーチ橋という人気の資源があるのに、危険だからといって林道をとめてしまっている。何らかの方法でお客さんをタワシユベツまで連れていくことはできないか。

○ダムサイドはとてもいい観光資源である。道を止めてしまつのは簡単だが、なん



▲団体懇談会

移住定住

○住む場所を確保するためにも、住宅支援は間違いなく効果がある。

○上土幌から人を出さない方法を模索するべきである。

コミュニティ

○活動の少ない行政区を統合できないか。10年後のまちのことを考えるのであれば、行政区の仕組みも考えなければならぬ時期にきている。

○行政区の合併は無理でも協力連携ならできるのではないか。連携があればスムーズにいく部分もある。